

ディビダーク・ストランド工法 D-M Aマルチストランドシステム

高強度コンクリート用(緊張時コンクリート強度100N/mm²以上)

ディビダークストランド工法(D-MA)タイプの概要

「ダックスビームHC」(設計基準強度100N/mm²・高強度コンクリート)への適用を前提とし、従来のMAタイプ定着具に小巻径のスパイラル筋を組み合わせ、定着部の部材寸法を縮小化した定着システム

特長

- ① 定着体が補強筋も含めてコンパクトなので 配置が容易
- ② 定着体の緊張力伝達性能が高く、小断面のコンクリート部材でも配置が可能
- ③ 使用頻度の高い2サイズを用意、塩害対策用エポキシ塗装仕様にも対応



緊張材

● PCストランドの規格

本工法に用いるPCストランドは、以下の規格・基準に準ずる。

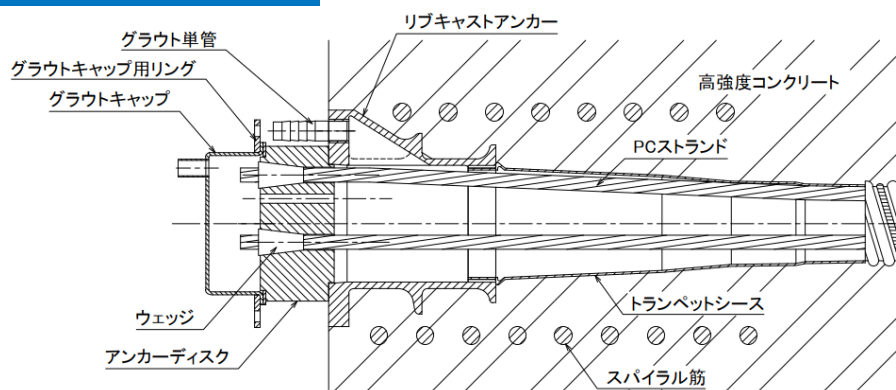
φ15.2 PCストランド	: JIS G 3536
φ15.2 ECFストランド	: JSCE-E 141

● ケーブルの構成

タイプ	ケーブル構成	ケーブル容量 [kN]	ジャッキ	ポンプ
D-MA	12S15.2	3132	DWJ-300	DWP-3.7
	12S15.2EP(※)			DWP-7.5A
	19S15.2	4959	DWJ-500A DWJ-500B	DWP-11
	19S15.2EP(※)			

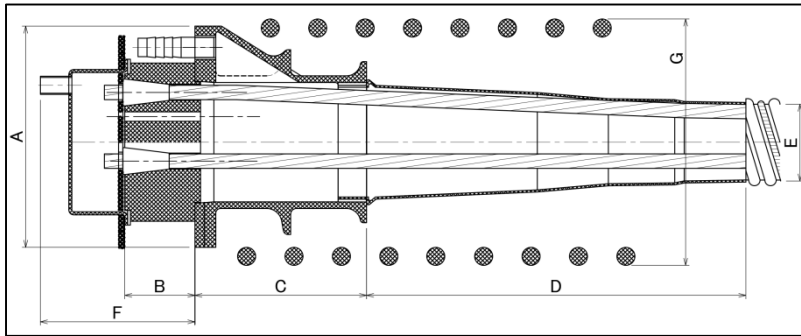
※EP: ECFストランドを使用したケーブル

定着システムの構成



D-M Aマルチ ストランドシステム

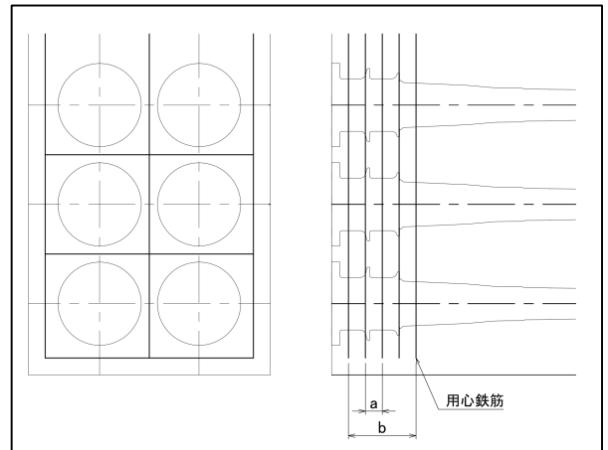
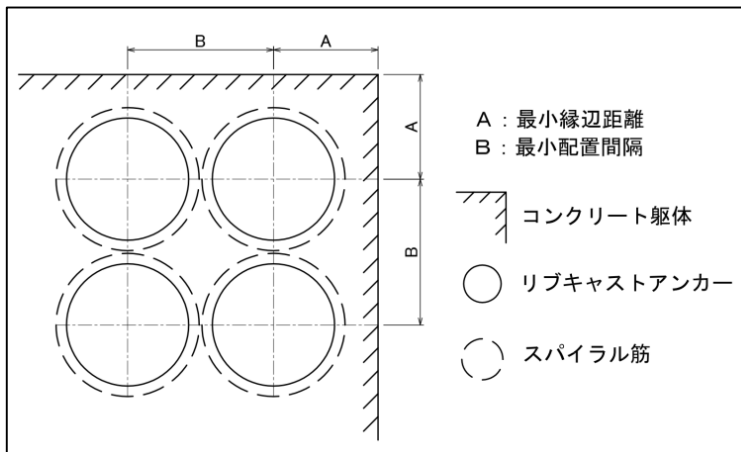
定着体



- A : リブキャストアンカー外径
 B : アンカーディスク長さ
 C : リブキャストアンカー長さ
 D : トランペットシース長さ
 E : シース内径
 F : グラウトキャップ長さ
 G : スパイラル筋巻外径

ケーブル構成	φA [mm]	B [mm]	C [mm]	D [mm]	φE [mm]	F [mm]	φG [mm]
12S15.2	222	74	180	470	80	163	260
12S15.2EP	222	94	180	370	85	183	260
19S15.2	280	94	220	580	95	171	324
19S15.2EP	280	104	220	580	105	181	324

定着体配置間隔



ケーブル構成	定着体配置間隔		スパイラル筋 材質 : SD345	用心鉄筋 材質 : SD345		
	A [mm]	B [mm]		a [mm]	b	鉄筋径
12S15.2 12S15.2EP	190	265	φ260×D19-@50×8	75	5	D16
19S15.2 19S15.2EP	220	325	φ324×D22-@60×8	85	5	D19